

祝 一般社団法人ワカバ会発足

～皆様ご協力ありがとうございました～

わかば

ワカバ会

73号

新生ワカバ会のスタートにあたって

ワカバ会会長 三輪田 真
(22才)

この四月から、ワカバ会は一般社団法人となりました。会員の皆様には、昨年十二月二日の臨時総会に向けて多大のご協力をいただき、その後もご心配をおかけしていましたが、三月には待望の東京都の認可を得ることができ、四月一日に登記手続きを完了した次第です。

これは、ワカバ会が昭和十一年（一九三六年）に社団法人として認可されてから、じつに七十六年ぶりの体制変更になります。今回は国の公益法人改革に対応したものです。が、もし期限までに移行できないと、解散により法人格を失うだけでなく財産没収も伴う厳しい結果となります。この重大な局面に対応して、ワカバ会では平成二十一年に公益法人制度改革移行委員会を立ち上げ、内外の有識者のご意見を伺いながら、検討を開始しました。当初は情報が少なく暗中模索の状況でしたが、先行する事例なども参考にして、移行後の形態を「一般社団法人」とすることとして、組織や定款を検討し準備を進めました。昨年十二月の臨時総会で多数の会員のご賛同により新定款案を承認いただいたことも大きなステップでしたが、書類の準備も簡単ではありませんでした。東京都には三〇種類を超える書類を提出し、それらの修正や追加資料の請求にも対応した結果、本年二月に東京都の審議会を通じて認可の運びとなったものです。この結果は、皆様の絶大なるご協力がなければ成し遂げられなかったものであり、ここに厚く感謝申し上げます。

なお新生なったワカバ会ですが、一般社団法人となっても同窓会としての機能は変わりません。むしろ活動の自由度は増えますので、これを機会に同窓生の交流を活性化するように、役員・事務局が丸となって努力していく所存です。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



2012年12月2日 臨時総会にて説明する三輪田会長

東京都立三田高等学校
同窓会

一般社団法人 ワカバ会

〒108-0073 港区三田1-4-46

電話 (03)3451-0227

FAX (03)3452-4590

E-mail: t-mita@wakaba-kai.org

http://www.wakaba-kai.org/

時間 午前10時～午後4時

休日 金曜・土曜・日曜・祝祭日

平成25年度 同窓会総会・懇親会のご案内

日時：平成25年 **5月19日(日)**

正午～午後3時 (受付11時20分より)

議題：平成24年度事業報告／決算報告

平成25年度事業計画／予算報告

会場：総会 母校体育館

懇親会 母校音楽講堂

会費：2,000円

- ◆ 議事終了後は、例年通り音楽講堂に場所を移し、先生方、同窓生共に昼食をとりながらのなごやかな懇親会です。お料理も飲み物も十分用意しています。
- ◆ 新会員(65回生)は、無料ご招待です。
- ◆ 今年も福引大会を行います。たくさんの賞品をご用意します。ご期待ください!
- ◆ ホームカミングデーにあたる方(ご案内状送付済)には特典があります。次のページをご覧ください。

一般社団法人移行について

— ワカバ会活動さらに充実を —



ワカバ会副会長 平山 孔嗣 (29-2)

平成 20 年の公益法人改革以来、毎号にわたりご説明し、ご心配を

おかけしてまいりましたが、本年 4 月 1 日に社団法人ワカバ会は無事一般社団法人認可を受け登記することができました。ひとえに会員の皆様、学校関係者、監督官庁である都のご担当者のご協力のお蔭と御礼申し上げます。特に認可申請に当たり一方ならぬご尽力をいただきました移行特別委員会、評議員会の皆様には深く感謝申し上げます。移行特別委員会での議論は、当初公益社団を目指さないと単なる同窓会でなく社会貢献も定款の目的としてきたワカバ会の歴史的存在価値がなくなってしまうのではないかとという意見から、公益への移行も検討されました。しかし、同窓会法人であるワカバ会が会員のための共益目的以外の公益事業を会の主たる事業とする

ことは、会設立の趣旨に反するとの意見が強まり、社会貢献の公益的業務は奨学金制度等を充実させることで諸先輩方の築いてきたものは引き継ぐという結論になりました。以降、一般社団法人認可に向けての基盤整備に努めてまいりました。臨時総会の際に定款変更のご説明をいたしました。85 年の歴史を持つワカバ会の会員は膨大であり組織設計上最大の難関となりました。多くの会員が集うのが社団法人の特徴ですが、多くの会員がすべて一堂に会する場所の確保も難しく、また地域的な分散もあり総会の運営方法の設計に知恵を絞りました。定款の定め、都の公益認定委員会の認可を得られるかどうか鍵となり、24 年度下期の都の担当官との厳しい折衝が最後の山となりましたが、どうか認可に至りました。

新ワカバ会と旧ワカバ会の違いの主要なところは、評議員会の有無、予算の承認が総会より理事会

の権限となり、総会は事業報告、決算報告の承認及び事業計画、予算の報告の場となることです。総会は、権限の重くなった理事、監事を選任する場となり、特に理事の任期は従来の 4 年から 2 年に短縮され、会員の皆様の監視を受けることとなります。

事業につきましては、従来通り同窓会会員相互の親睦を旨とし、各種行事を行い、会報の発行や社会貢献としての奨学金制度の一層の充実を図ります。また、会員の皆様の声を広く反映させることも、一般社団になったことにより柔軟に実行が可能で、これを支える財政につきましては、従来財産は原則として公益目的支出計画に充てられることとなり、共益事業については皆様からの維持会費に依存して行かねばならず、会の発展のためには、従来に増してのご支援、ご協力をお願いするところです。母校三田高校も目覚ましい復活を遂げております。この制度改革をより良き方向に進化させ、後に続く会員の皆様が母校とともに発展できる礎となれば幸いです。お喜び。

ホームカミングデーの皆様、ぜひ総会へ！

ワカバ会では 2002 年から「ホームカミングデー」を総会日に併設し、年々盛会となっています。今年度該当する皆様には、先日、別途お便りを差しあげましたが、お誘い合わせの上、ぜひご出席ください。当日ご出席の皆様には、オセンチ山をバックにした集合写真の進呈や特設テーブルの設定などの特典があります。クラス会や同期会としても活用していただきたいと思っております。

今年のホームカミングデーにあたるのは、昭和 8 年 (第六 6 回生)、昭和 18 年 (第六 16 回生)、昭和 28 年 (三田 5 回生)、昭和 38 年 (三田 15 回生)、昭和 48 年 (三田 25 回生)、昭和 58 年 (三田 35 回生)、平成 5 年 (三田 45 回生)、平成 15 年 (三田 55 回生) の各 3 月に卒業された方々です。

変わらぬご支援を



ワカバ会名誉会長
三田 高校 校長 及川 良一

本年5月本校は、創立90周年記念式典を挙行します。思い起こしますと10年前の80周年当時、ワカバ会は閉校をお考えだった軽井沢山荘を、在校生のためにリニューアルをして存続を決めていただきました。以来、HR合宿、サマーセミナー等で利用させていただき、教育活動への効果は大なるものがありました。あらためて御礼申し上げます。この春卒業した、山荘でのHR合宿を経験した最後の学年第65回生は、お蔭様で例年以上の進学実績を残すことができました。

平成23年度のHR合宿をどうするか、そこから本校の教育活動の見直しが始まりました。まず、教育目標をリニューアルし、伝統を基調としつつ、知識基盤社会化、グローバル化が進む時代に進取の気概をもって主体的に参画し社会貢献できる「教養人・リーダー・開拓者」の育成を掲げました。そして、進学指導推進校として「自律・自学・チーム三田」の力で高い志の進路実現!」のスローガンの下、新たな進学指導の取り組みを開始し、HR合宿はオリエンテーションキャンプに、サマーセミナーはウインターセミナーへと装いを新たにしました。また、1年次「奉仕」、2年次「課題研究」における系統的な探究活動Mプロジェクトを開始しました。自ら課題を発見し解決に取組む探究活動を通して、基礎的な学力、思考力、判断力、表現力等の活用能力やコミュニケーション能力の育成を図り進路実現を促す主体的な学びの仕組みで、真に社会貢献・国際貢献のできるグローバル人材の育成がねらいです。その1期生は、90周年を迎えた今年度巣立って行きます。

100周年に向け、今後も変わらぬワカバ会のご支援をお願い申し上げます。

初めての海外修学旅行 韓国へ

副校長 降幡 高志

本校は、既に国際理解教育の実績が多くあります。更に生徒の主体的な学びを図りながら国際理解や国際交流に貢献できる資質や能力を育成するため、平成24年度から海外修学旅行を実施することになりました。海外修学旅行には必ず現地校との交流を行うことになっていますが、大韓民国の忠南外国語高等学校とは既にeメール等による交流が始まっていたため、平成24年度は10月2日(火)～6日(土)の日程でソウルを中心に訪れました。

忠南外国語高等学校へは4日目の午後に訪問しました。全体での文化交流で互いに学校紹介や歌、楽器、ダンスの発表を行い、最後に両校の生徒達で歌った「We are the world」は大変感動的でした。その後、部活動単位での交流を行いました。旅行後のアンケートでは満足度が非常に高かった中で一番の不満は交流の時間が足りないというものだったように、あつという間の時間が過ぎました。同校は、全寮制で外国語教育に力を入れている、英語のレベルが非常に高い学校です。交流は基本的には英語で行い、これも生徒には大きな刺激でした。

生徒は、事前に韓国に関する本を何冊も読み、講演を聴く、レポートをまとめるなどの学習を行いました。また現地では、学校交流以外にも歴史や文化を学ぶ見学のほか班別行動やテーマ別体験なども行い、これらを通して、異なる国の人と共通する、また異なることがあること、そして難しい問題も相互理解をしながら解決していく大切さを肌で感じ学んだ、非常に有意義な修学旅行ができました。

◎25年度は10名の 奨学生を募集

ワカバ会丸山記念奨学金

一般社団法人になったワカバ会は、従来から行ってきた三田高校在校生へのワカバ会丸山記念奨学金(給付制・年額一人6万円)を、今後も主要な公益目的事業として継続してゆきます。今年度は、予算を増やし、10名を採用します。

これまではなるべく多くの人に機会を与えるため、同種の奨学金を受けていないことを応募の条件にしましたが、今年からこの条件を廃止、他の奨学金との併願も認めます。

新学期に全生徒に募集要項を配布、5月末までに学校経由で希望者を募り、書類選考のうえ、奨学生を決定して7月と1月に半年分ずつまとめて本人に給付します。昨年度の奨学生は3年生2名、1年生3名、合計5名でした。

ワカバの輪

米寿記念旅行

15-オ 黒田美和子 (向山)

私たちは十五回オ組ひなづる会の8名は昨年十月半ばに、米寿記念一泊旅行を行いました。80歳の傘寿記念ハワイ旅行の時とは、メンバーが少々違っていました。今回は体調不良の為不参加の方や、亡くなられてしまった方もありちよつと淋しくもありました。新宿をワゴン車で出発、御殿場で昼食、山中湖畔をドライブしました。富士山がうつつらとしか見えなかったのが残念でした。宿泊先のお台場のホテルは、海沿いの部屋で、海の方こうには光り輝くレインボーブリッジ、目の前の海には屋形船が浮かんでおり、心に残る美しい夜景でした。翌日は隅田川を舟



右端 筆者

で浅草へ。人力車に分乗し下町見物、浅草寺にお参りして解散しました。とても楽しい二日間でした。私たち来年は卒寿です。ひなづる達は九十年も生き延びて、未だ元気です。

二十五回生同期会

25-6 尾澤 一重



昨年十二月に銀座で同期会を行いました。オリンピックが開催される年に同期会を行うようになり今回で2回目です。前は120名、そして今回は90

名の仲間が集まりました。

前回は恩師の先生方にもお越しいたゞき、塩澤先生からは「君達も若くないし、これ以上の出世は望めないんだから今後は頑張らずに好きな仕事をして人生を楽しみなさい」と最後のありがたなお説教をいただき会場は大爆笑でした。(筆者注：塩澤先生はこの2ヶ月後にお亡くなりになりました)卒業して40年になりますが同期が集まれば気分は高校生に戻ります。高

校時代の話しで盛り上がり、お互いのアドレス交換をしたりと3時間があっという間に過ぎていきました。今回はまた4年後。元気に再会できることを祈ってお開きとなりました。

恩師・級友に感謝

43-5 岡田 円香 (岡田)

現在四十歳：中学受験に失敗し公立中学へ進む。目指すは三田高！私に音楽の素晴らしさを教えてくださったピアノの先生(娘十一歳。現在先生の指導を受けています)も、私に勉強の楽しさを教えてくださった塾の先生も三田高！私は恩師に憧れを抱き三田高への進学を決意、入学しました。



43 回生有志の集まり 2013.1.26 筆者 前列左から4人目、右隣 西山昭宣先生

かなり破天荒な私を蔑視することなく個性として受け入れてくれた先生方や級友に改めて感謝。高校時代からバンドを組み結婚するまで歌い続けることができた。また三田高への進学がきっかけで小さいけれど塾の先生をしつづけて二十四年。同窓会で級友や先生が私に言ってくれます。「パワフルに頑張っ

てるね。応援してるよ。」高校時代からずつと言ってもらえるこの言葉！私は幸せです。この言葉を活用に今日も生徒たちに教えています。ありがとう。

願いがかなって

28-5 上田みつ子 (原)



七年間、高校時代を懐しみながら、母校で貴重な教員生活を送ることができました。着任早々に担任をした時は、保護者の学年代表を、同期の卒業生が引き受けてくださり、息の合った幸先の良い三年間のスタートになりました。

他校同様、三田も、一年一年新しい教育課題に向き合っていますが、地域や関係者の応援、熱心な保護者に支えられ、生徒も教員も前進しています。私の高校時代にはなかった、第九の合唱、野球部、海外修学旅行。歌声を響かせ、楽器を奏で、踊り、演じ、球を追ひ、笑い、泣き、異文化交流を楽しみ、考え、発表し、今日も東京タワーを見ながら、生徒達は成長を遂げています。そんな生徒達に、元気で勇気をもたらえる三田高校は、私にとって最高のパワースポットでした。母校の益々の発展を祈っています。

ワカバ会行事に参加して

蒲田切子体験講座に参加して

18-8 市瀬 茂子(山岡)



切子の作業台に坐り、背後から職人さんに手を添えて貰い、ガラスのタンブラーをグラインダーに当てて十秒足らず、お手本の星が一つ出来上がりしました。次からはもう一人立ちです。緊張の極みの中、何とか二つ三つと不細工ながら星を刻み、気が弛んだ途端、流れ星となりました。グラインダーにガラス面が不用意に触れたのです。あら、消しゴムを使える筈もないし、どうしよう、後悔先に立たず、でも何とか流れ星付き七つ星入り切子のマイグラスが完成しました。

その源流で人々から愛好された江戸切子の伝統のお話や併せて展示されていた伝統工芸士鍋谷聰氏の卓越した技術とセンスの作品群に思いを馳せてマイグラスで乾杯。我が実習体験は終了しました。

(平成二十四年九月三十日実施)

鎌倉・日蓮ゆかりの地散策に参加して

30-3 岸 亮一



筆者 後列中央

三田高校を卒業して三十年、転勤で移動を繰り返して、一昨年東京に居を定めて少しほっとした頃、ワカバ会の会報を見て行事に目が留まった。平日休みがある今だからと、寺の娘である妻

を鎌倉へ誘うと快諾。こうして卒業後初めての行事参加は日蓮縁の寺を訪ねる旅となった。五十三歳の若輩と卒業生ではない妻を先輩方は暖かく迎えて下さった。ガイドさんのお手伝いをさせていただきつつ妙本寺に始まり安国

論寺や長勝寺を明快で楽しい解説を拝聴しながら歩く旅を満喫した。やはり旅は歩くに限る。街の美しさも風も光も歩いてこそ印象に残るものだと思う。お世話役のご配慮で旅程管理も完璧、楽しい昼食も含め、大先輩方と心から一杯。続編参加を希望しつつ会員の行事参加が増えることを期待したい。

(平成二十四年十月十八日実施)

ハーブティーの妻さを実感!

18-3 田中 朝子(永野)

この時季には珍しくポカポカ陽気の二月七日、母校で開かれた「第二回アロマテラピー講座」に参加しました。ペパーミント、ネトル、エキナセアなど五種類のハーブティーを試飲しながら、それぞれの効能、正しい飲み方等を学びました。又、ブレンドすることで、感冒、花粉症、貧血などの予防効果がさらに高まるなどハーブの素晴らしいパワーを知りました。

ビタミンCを含み、利尿作用や疲労回復の効能をもつハイビスカスの美味しい飲み方(ミントやローズヒップとブレンドして作るアイスティー)も教わりましたので、暖かい季節になったら早速試してみようと思います。

この日最後に試飲した、牛乳で作ったカモミールミルクティーは、牛乳が嫌いな人も好きになりそうな爽やかな香りと味でした。

(平成二十五年二月七日実施)

三浦三崎を訪ねて

5-4 佐藤ギン子(柳沢)

三月十二日、NHK文化センターの中村實先生を講師に、ワカバ会員十二名で三浦三崎を訪ねました。

当日は晴天に恵まれ、三崎口では、富士山が見えました。まず、澤田痴陶人美術館で、痴陶人の作品を鑑賞した後、昔の家並みが残る町で、関東大震災でも倒壊せず残ったという築後百年という蔵を見た後、城ヶ島大橋を渡りレストランで食事しました。そこへ城ヶ島育ちで横浜相撲甚句会会長の石



筆者 前列帽子の女性

橋さんという方が来られ、相撲番付の見方、招び出しの所作、本物の拍子木を使った打ち方を教わり相撲の見方が深まりました。城ヶ島公園では戦前に作られた砲台跡や弾薬庫跡を、真暗な中、懐中電燈で足元を照らし乍ら見学しました。その後「城ヶ島の雨」を詠んだ白秋記念館を訪ねました。世話役の西上原さんがとうとうさいました。

(平成二十五年三月十二日実施)



筆者 後列中央

情報ひろば

◆新刊紹介

『帰国生と共に拓いた教育のグローバル化
～四半世紀を振り返って～』

著者：齊藤源三郎 (旧職員) 発行：郁朋社
定価：800 円 (税別)

都立高校最初の帰国生受け入れ校になった三田高校に赴任したことが私にとっての帰国生との印象深い接点になりました。受け入れ 4 年目になった三田高校では荒井淳雄先生を中心に受験から受け入れ後の指導まで、試行錯誤しながら全力で取り組んでいました。以後、私は国際高校の創設、退職後は元三田高校長の長谷部先生が勤めておられた海外子女教育振興財団および外務省の子女教育相談室と一貫して帰国生に関わってきました。はほ四半世紀にわたって携わってきた帰国子女教育も国際情勢の変化と共に変遷を重ねてきました。その一端を担ってきた者としての体験を小冊子にまとめてみました。ご一読いただければ幸いです。



◆新刊紹介

『随想 モラルリストの系譜 モラル、良心、真実
モンテニユ、プーシキン、シェイクスピアをめぐる』

著者：高橋良子 (新井) (17-エ) 発行：光陽出版社
定価：2,000 円

海に囲まれた地震列島に原発を誘致させられ、被災者の救済と核汚染物の始末もはかどらないとき、私の読書のゆきついたところは、人間存在の根源をとわれねばならないと覚しきところであった。軍国の風のふきあれたときでも、争わず、助けあい、個性を育て、健康をきたえ、個人の自由と尊厳を守り通した第六方式の根もとを、混迷の中で苦慮する教育界、スポーツ界は問い直すときではないだろうか。



同期会、クラス会、OB会、支部会などの原稿や、
その告知など、随時受け付けております。
楽しい原稿を是非お寄せください！！

◆新刊紹介

『句画集 木の名 草の名』

著者：小島信子 (黒澤) (10-3) …… (句)
三村伸絵 …… (絵)

発行：智書房 定価：2,800 円

草花が好きで出会った二人の女性。一人は花卉のたわむれや葉の虫くいまでを見つめて描き、一人は草木の語りかける季節のことばを書きとめました。その絵と文字が結びあって生まれた句画集です。見かけは淡墨ですが全頁四色刷り。二人が声をかけあってから三年、ゆっくりつくりあげた一冊です。



◆新刊紹介

『地域と女性の社会史—駿遠地方を中心として—』

著者：小和田美智子 (高橋) (18-3)

発行：岩田書院 定価：6,900 円 (税別)

地域史・女性史・社会史の視点で、近世の静岡県駿遠地方の人々の暮らしや庶民の文化を記録した著作です。内容は今川義元の母寿桂尼と茶の湯、家康の正室・側室、駿府城下の女性、遊廓二丁町、庶民のライフサイクルや文字文化の普及、慶喜に従って駿府に移住した旧幕臣女性などです。地震や洪水で耕作皆無になった天竜川沿いの村々の様子や、雨の中耕作する農民に感謝して日記に書いた武家・商家女性も紹介しています。



◆三田フィルハーモニーオーケストラ第22回定期演奏会

日時：2013 年 6 月 2 日 (日) 13:15 開場 / 14:00 開演
会場：大田区民ホールアブリコ (大ホール)

(JR 蒲田駅東口徒歩 3 分)

入場無料・全席自由 (チケット不要)

※未就学児のご入場はご遠慮下さい

曲目：

P. チャイコフスキー／交響曲第 4 番

F. リスト：前奏曲 (レ・プレリュード)

C. ドビュッシー (編曲：アンリ・ビュッセル)：小組曲

指揮：岡田友弘

皆様のご来場を団員一同心からお待ちしております。

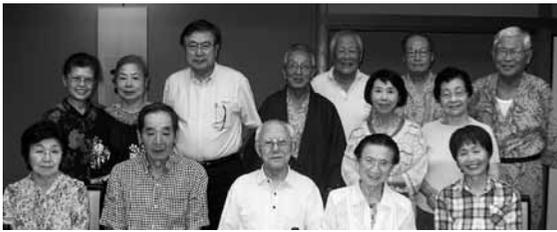
<メンバー募集中!>高校在学時のクラブは問いません。詳細は、<http://www.mitapo.net/> へ!

追悼
さようなら寺尾先生!

10-3 緑川 雄三

運命の十月二十九日。諸用上京の空き日にスカイツリー見物後、浅草雷門のお店をお訪ねしたのですが、「体調が悪くて」との家の方のご返事で会えませんでした。翌朝、携帯で「昨日倒れて亡くなった」と知らされ絶句。一ヶ月前に琵琶湖畔で先生を囲む2の2の会(写真)では、変わらぬダンデムードといつもの笑顔で寺尾節も冴えていて、まだまだお元気でしたから、本当に信じられない衝撃でした。思い巡らせば、微笑の絶えない大らかだった数学の授業風景、平成十九年に五十年振りにクラス会にお招きした時の痛快人生談と素敵な笑顔、以来毎年ご参加されて皆と楽しそうに談笑されたお姿等々。思い出は尽きません。慈愛溢れる先生の笑顔は、我らの脳裏に永遠に不滅です。「寺尾先生、素敵な出会いをありがとうございます。ごさいます。」

合掌



生前最後の9月13日のクラス会写真
前列中央が先生 右隣が奥様

追悼
荒井先生を偲んで

25-7 西川 直幸



傘寿を祝う会にて

昨年10月13日、荒井先生が入院されたと聞いて同期の女性陣五人と一緒にお見舞いに伺いました。先生は話ができないご様子でしたが、女性陣の賑やかな話しかけに小さく頷いていましたね。僕は彼女達の話に圧倒されベッドの端でただ様子を覗いていただけでしたが、病室を出る前に「じゃあ先生またね」と声をかけると、先生はいつもと変わらぬ低い野太い声で「おおう」と返事されましたね。それまで一言も声を出されなかったのに、みんな驚かされました。きっと先生は「いつでも来いよ」と言ってくれたんですよね。それが最後に聞きました先生の声になってしまいました。今でもこの耳に残っています。荒井先生、安らかにお眠り下さい。色々お世話頂いた事感謝いたします。

追悼

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

Table with columns for names, graduation groups, and dates of death. Includes names like 寺尾光史, 荒井淳雄, 福山信子, etc.

平成25年度 先生方のご異動

(敬称略)

転 出				転 入			
職	氏 名	教科科目	異動先学校名等	職	氏 名	教科科目	異動前学校名等
主任教諭	森崎 正寛	政経	府中西高校	主任教諭	大澤 隆	倫理	上野高校
主任教諭	島竹 里枝	数学	小山西高校	主任教諭	岩崎 泰夫	数学	江戸川高校
教諭	川上 温放	生物	豊多摩高校	主任教諭	上野 精一	生物	東久留米総合高校(定)
教諭	辻本 千鶴子	英語	日比谷高校(非常勤教員)	主任教諭	桑波田 理恵	英語	篠崎高校
主任教諭	上田 みつ子	英語	富士兼富士高校附属中	主任教諭	永峰 寿子	英語	新宿高校
主任教諭	気賀澤 保代	英語	小石川中等教育	主任教諭	佐藤 実	英語	大泉兼大泉高校附属中
主任教諭	岡本 謙一	英語	大泉桜高校	教諭	上岡 健太	英語	新規採用
教諭	寺西 盛二	体育	六郷工科高校(非常勤教員)	主任教諭	紺野 正紀	体育	竹台高校
主任教諭	井谷 享	体育	浅草高校(定)	教諭	博田 勝志	体育	新規採用
				教諭	雨海 利行	国語	期限付任用
非常勤教員	原田 健	倫理	日野台高校	非常勤教員	浅倉 広男	保体	墨田工業高校
				非常勤教員	坂本 良一	数学	竹早高校
経営企画室長	山崎 真由美	事務	両国高校(附属中学兼務)	経営企画室長	村田 幸子	事務	港特別支援学校
主任	藤崎 雪乃	事務	芝商業高校(担当係長 昇任)	主事	五十嵐 麻子	事務	芝商業高校
主任	村上 真知	司書	日比谷高校	主任	金田 章子	司書	第三商業高校

御 寄 付 御 礼

- ◆第六1-A 福山信子(勝野)様のご遺族様より 10,000円
 - ◆第六16-E 浅野日出子(伊藤)様のご遺族様より 30,000円
- 以上のご寄付をいただきました。会の運営のために使わせていただきます。ありがとうございます。ございました。

☆振り込め詐欺にご注意!!

会員や三田警察より、三田高卒業生の名簿を使用したと思われる悪質な振込詐欺の電話が多かかってくるとの報告がありましたので、引き続きくれぐれもご注意ください。

事務局 だ よ り

◆事務局では、皆様のプライバシーを守るため、名簿の申し込みや問い合わせに対しては、慎重に対応しております。

クラス会や同期会開催時に、幹事の方へ有料で名簿、宛名ラベルを提供しております。ご利用の際は、事務局に用意している申込書にご記入の上、お申込みください。なお申込書はホームページよりダウンロードしてお使いいただけます。

編 集 後 記

◆今年は桜の開花がいつもより早く一足先に春の訪れを感じました。

さて、ワカバ会も今年度より新たに一般社団法人としてスタートをきることができました。ひとえに皆様方のおかげです。ありがとうございました。(T)

ワカバ会 駐 車 場

ワカバ会は、大田区鵜の木に28台駐車可能な月極駐車場を所有しています。月々の駐車料は皆様からの維持会費同様、ワカバ会の貴重な財源として有効に使わせていただいております。しかし、現在11台分の空きがある状態です。お近くにお住まいの方、ぜひご利用ください。また、お知り合いの方をご紹介いただければ幸いです。

短期のご契約も歓迎です。駐車料金は一ヶ月25,000円です。その他お問い合わせはワカバ会事務局までご連絡ください。

所在地：大田区鵜の木3-32-10

ワカバ会オリジナルグッズ

お申し込みは 電話・FAX・eメールにて、事務局まで



折りたたみトートバック
全5色 各700円
31×37×9cm
(広げるとA4サイズも入ります)



たたむと
こんなに
小さくなります



バンダナ 各500円



ブロンズ シルバー
携帯ストラップ 各300円

折りたたみ傘
各700円



タオルポーチ
各500円

ベージュ	ピンク	薄紫
からし色	桜色	青紫
オレンジ	ワイン色	紫

タオルマフラー
各800円



ミニタオル
ハンカチ
各350円



クリアファイル
各50円

レターセット 100円
一筆箋 各100円